

# 八千代市地域公共交通計画 = 概要版 =

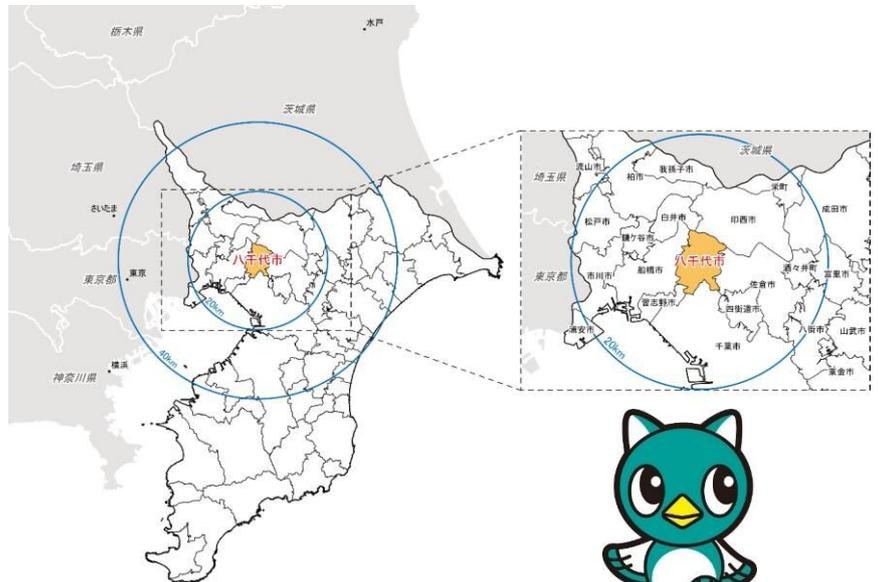
## 策定の背景・目的

本市の発展を支えた公共交通は、鉄道・バス・タクシーで構成され、鉄道については、東京都心と成田国際空港などを結ぶ広域的な輸送を担い、主に民間バス路線で形成されるバス交通とタクシーが、市内及び近隣地域との輸送を担ってきました。

今後、少子高齢化のさらなる進行により、市民の移動手段として、公共交通の担う役割は、ますます重要になると考えられる一方、交通事業者の運転士不足及び高齢化、利用者数の減少等、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした背景のもと、社会情勢の変化及び市域全体の状況と地域の特性を踏まえ、地域の移動ニーズに応じた、利便性が高く持続可能な地域公共交通網を構築するため、本市の公共交通に関する今後の目標や施策の方向性を示すことを目的として、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、地域公共交通のマスタープランとなる「八千代市地域公共交通計画」を策定するものです。

### ■八千代市の位置



八千代市イメージキャラクター「やっち」

## 対象区域

対象区域は、八千代市全域とします。

## 対象期間

本計画の期間は令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とし、おおむね5年ごとに更新を図ります。

### ■八千代市総合計画と八千代市都市マスタープランとの対象期間の比較

年度(令和)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
八千代市総合計画 (基本構想)	第5次総合計画					※点線の矢印は今後策定予定の計画となります。														
八千代市 都市マスタープラン	→																			
八千代市 地域公共交通計画	→					※点線の矢印は今後策定予定の計画となります。					※点線の矢印は今後策定予定の計画となります。					※点線の矢印は今後策定予定の計画となります。				

※点線の矢印は今後策定予定の計画となります。

## 地域特性及び地域公共交通の現状

### ●市の現状

- ・老年人口は徐々に増加しているのに対して、年少人口は減少傾向。
- ・鉄道駅から800m, バス停留所から300m圏内に人口の約90%が居住している。
- ・北部は公共交通沿線地域が少ない。
- ・市外への流出では東京都が最多で、次いで船橋市、千葉市が多い。
- ・市外からの流入では船橋市が最多で、次いで佐倉市、千葉市が多い。

### ●地域公共交通の現状

- ・鉄道や路線バス等の公共交通は、コロナ禍の影響により利用者は減少している。
- ・コミュニティバスの収支率は、令和元年度まで増加傾向であったが、コロナ禍の影響で令和2年度に大きく減少している。(その後は徐々に回復)
- ・公共交通以外の移動支援サービスとしては、障害者等タクシーと高齢者外出支援タクシーが存在。
- ・公共交通以外の移動手段としては、通学支援バス及び民間送迎バスが存在。

### ●市民や公共交通利用者のニーズ

#### 《市民アンケート調査》

- ・免許を持っていない方の移動手段として、鉄道や路線バス等の公共交通機関は、無くてはならない存在。
- ・高齢者が安心して返納できる交通サービスの提供および整備が必要。

#### 《北部市民アンケート調査》

- ・新しい移動手段の導入として、デマンド交通の利用意向は「10年後は利用するかもしれない」が47.9%、「すぐにでも利用する」が17.0%。

#### 《公共交通利用者アンケート調査》

- ・鉄道利用者の満足度として、「運賃」「駅周辺での駐車場の確保のしやすさ」で満足度が低い。
- ・路線バス利用者の満足度として、「運行本数」「バス停留所の待合空間」「他の交通機関との乗り継ぎのしやすさ」で満足度が低い。
- ・タクシー利用者の満足度として、「配車依頼時の迅速さ」「運賃」で満足度が低い。

### ●交通事業者の状況

- ・コロナ禍によるテレワークの普及等により、通勤定期利用者は減少傾向。(鉄道)
- ・慢性的な乗務員不足。コロナ禍で利用者数がコロナ前の7~9割程度まで減少。(バス)
- ・駅前広場において、一般車両の路上駐車等により、バスが正着できない。(バス)
- ・利用者数は徐々に回復傾向にあるが、コロナ以前の水準には未達。(タクシー)

### ●上位関連計画における地域公共交通の位置づけ

#### 《八千代市第5次総合計画》

- ・持続可能な公共交通ネットワークの形成／鉄道輸送の充実／バス輸送等の充実／駅前広場の整備

#### 《八千代市都市マスタープラン》

- ・鉄道の利便性の向上／鉄道の安全性の向上／地域公共交通計画の策定・推進／バス等の移動手段の充実

## === 地域公共交通の課題 ===

### ●高齢化の進行に伴う高齢者等の移動手段の確保

### ●北部エリアと市中央・南部をつなぐ移動手段の強化及び補完的移動手段の検討

### ●市内に存在する各公共交通機関の相互連携による利便性向上

## ▶▶▶ 計画の方針(目標)

### 1 市民の誰もが安心して利用できる公共交通ネットワークの実現

地域公共交通を利用する市民の誰もが、不便を感じず多方面へアクセスでき、安心して利用できる公共交通ネットワークの構築を目指します。高齢者等の移動手段の確保や鉄道等の広域交通の利便性向上、運転士不足や利用者の減少といった路線バス・タクシーの実態を踏まえた既存公共交通の維持・利用促進などの取組を推進していきます。

### 2 地域公共交通の相互連携による利便性の高い公共交通サービスの実現

それぞれ特性・ニーズの異なる地域公共交通の役割を明確にしたうえで、効果的な機能分担をするとともに、各公共交通相互連携による利便性の向上を目指します。そのため、主要な交通結節点における機能整備や地域輸送資源の活用の検討、福祉分野との連携などの取組を推進していきます。

### 3 新たな移動手段の導入による充実した公共交通の実現

市内北部エリアは、鉄道駅から離れており、バスの運行本数も市中央・南部と比べて少ない状況となっています。八千代カルチャータウン地区を地域拠点として位置づけていることも踏まえ、既存公共交通との共存や事業の持続性等を考慮しながら、地域にふさわしい補完交通の導入を検討していきます。

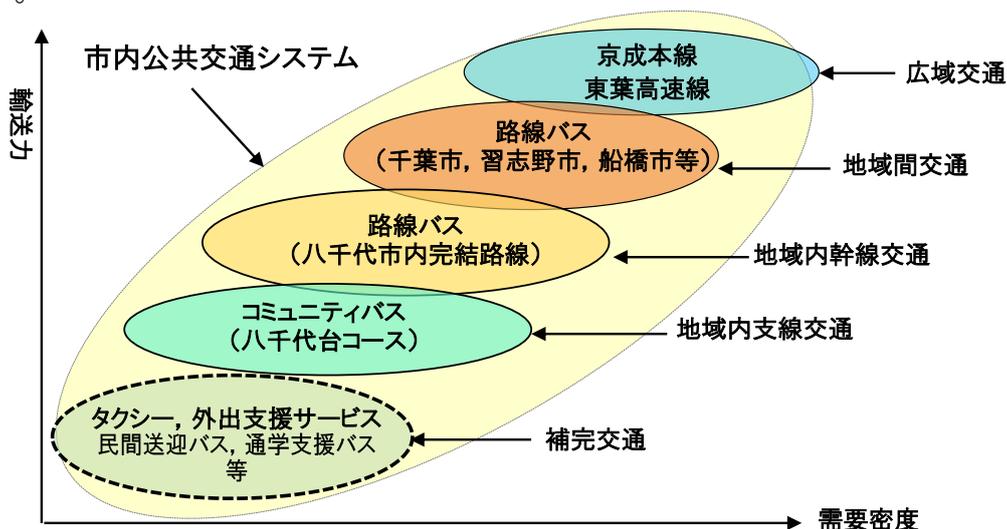
### 4 公共交通の運行に関する分かりやすい情報発信の実現

市内の公共交通について、情報を一元的に提供する媒体がないため、利用者に対し十分な情報が行き届いていない状況であることから、分かりやすい情報の提供を目指します。そのため、公共交通マップの作成や交通結節点における情報提供設備の充実などの取組を推進していきます。

## ▶▶▶ 地域公共交通の機能分担

本市の公共交通ネットワークの方向性として、以下のとおり5段階に機能分担を図ります。

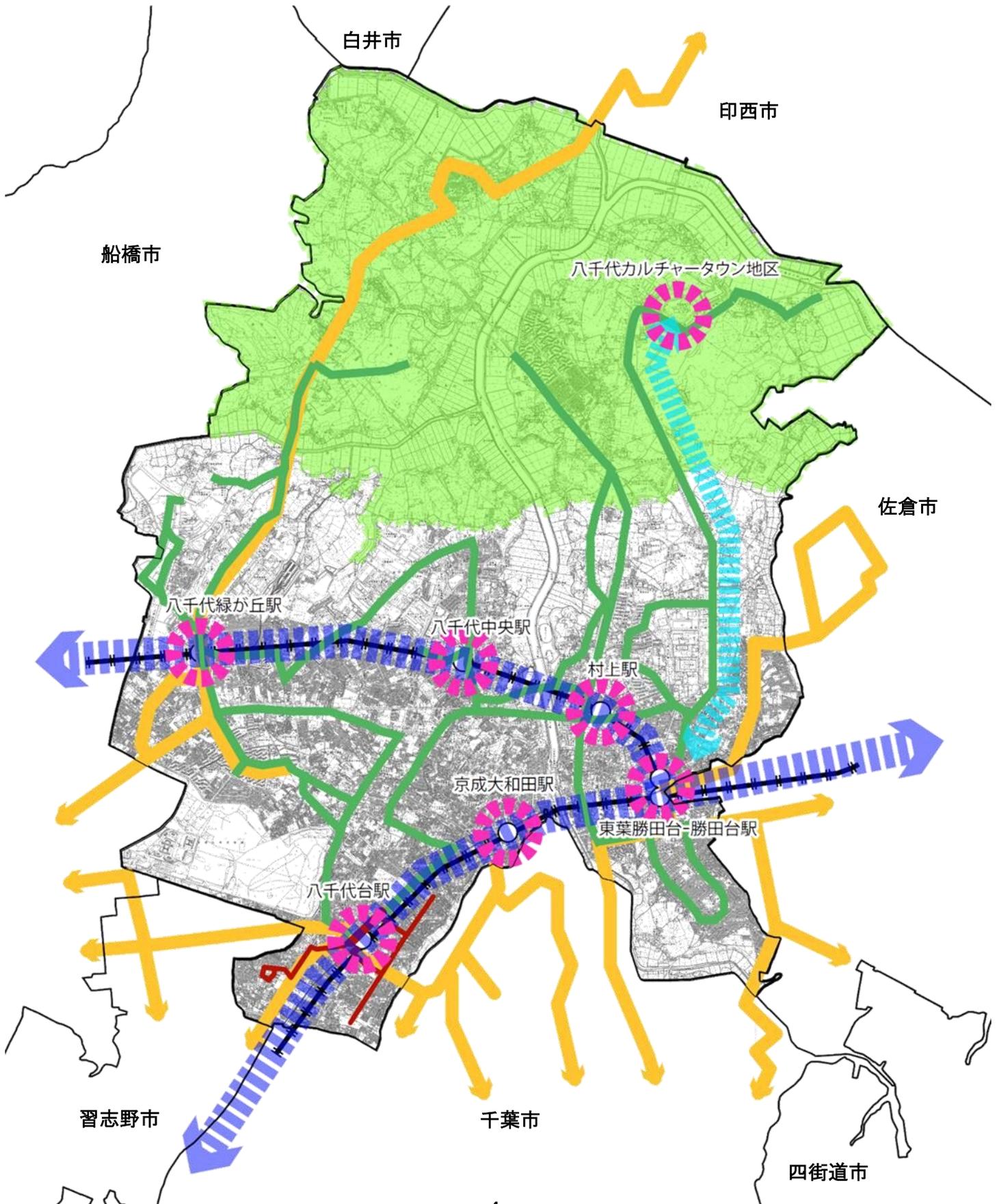
交通結節点としては、鉄道駅等を位置づけ、既存の公共交通ネットワークを基本としながら、これらを補完する新たな交通システムの導入を検討します。また、公共交通機関の相互連携により、利便性の向上と効率的な運行を目指します。



# ▶▶▶ 将来ネットワークイメージ

## 凡例

-  広域交通
-  地域間交通
-  地域内幹線交通
-  地域内支線交通
-  新たな交通手段(面的なサービス)
-  交通結節点
-  南北の強化軸



# 方針(目標)を踏まえた実施事業

## 方針(目標)① 市民の誰もが安心して利用できる公共交通ネットワークの実現

### 事業1 広域交通の利便性向上

#### ① 鉄道の利便性向上

【具体的事業内容】

- 鉄道駅バリアフリー・鉄道施設耐震対策等への対応
- 鉄道事業者への住民ニーズの共有

#### ② 空港アクセス等, 新たな事業展開の研究

【具体的事業内容】

- 東京国際空港(羽田空港)～市内駅の高速連絡バス等の事業展開の研究

### 事業2 公共交通の維持

#### ① 既存バス路線の維持及び利用促進

【具体的事業内容】

- 関連事業者との協議の場の設定
- 路線バス車両のバリアフリー化

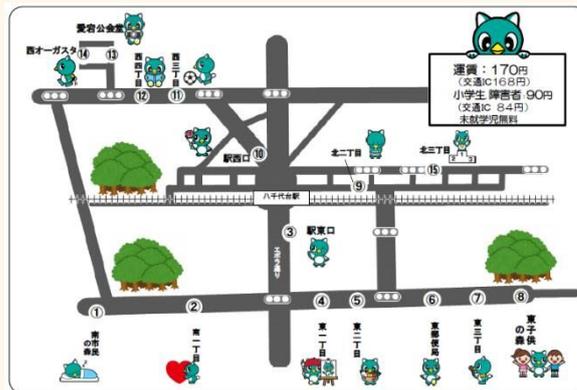
#### ② コミュニティバスの利用促進

【具体的事業内容】

- 認知度の向上に向けた取組
- 利便性の向上に向けた取組

【概要】八千代台コース

路線バスの運行のない八千代台地域(八千代台北を除く)で、高齢者等の移動手段の確保とまちの賑わいを創出するため、コミュニティバスを運行中。



#### ③ 運転士不足への対応

【具体的事業内容】

- 運転士の就職説明会への後援・共催

#### ④ 千葉市と連携した北部循環線(花まる号)の維持

【具体的事業内容】

- 協議会への参加と利用促進

■北部循環線(花まる号)路線図



### 事業3 公共交通の利用促進

#### ■ノーマイカーデーのチラシ (福岡県北九州市)

#### ① ノーマイカーデーの実施等, 公共交通の利用促進

##### 【具体的事業内容】

- ノーマイカーデーの実施等, 公共交通の利用促進

#### ② バスの乗り方教室等によるモビリティ・マネジメントの推進

##### 【具体的事業内容】

- バスの乗り方教室等によるモビリティ・マネジメントの推進



## 方針(目標)② 地域公共交通の相互連携による利便性の高い公共交通サービスの実現

### 事業4 主要な交通結節点の機能整備

#### ① 上屋やベンチの設置等, 主要な交通結節点における待合空間の整備

##### 【具体的事業内容】

- 勝田台駅南口駅前広場の再整備      ○駅前広場の上屋, ベンチ設置可能箇所への設置促進

#### ② 地域拠点(八千代カルチャータウン地区)における機能整備

##### 【具体的事業内容】

- 路線バス事業者等と市の協議の場の設定

### 事業5 地域輸送資源の活用法の検討

#### ■送迎バスの空席を活用した高齢者等の 外出支援(千葉県我孫子市)

#### ① 民間送迎バス等, 地域輸送資源の活用可能性の検討

##### 【具体的事業内容】

- 地域輸送資源の活用可能性の検討



### 事業6 福祉分野との連携

#### ① 移動支援事業の継続及びサービスの見直しの検討

##### 【具体的事業内容】

- 移動支援事業の継続及びサービスの見直しの検討

#### ② 高齢者運転免許証自主返納支援事業の継続

##### 【具体的事業内容】

- 高齢者運転免許証自主返納支援事業の継続





## 達成状況の評価

方針(目標)に応じた評価指標と目標値を以下のとおり設定します。

方針(目標)	現状値(R4)→目標値(R9)	
市民の誰もが安心して利用できる公共交通ネットワークの実現	鉄道の乗車人員 68,748 千人→ <b>78,000</b> 千人	路線バスの利用者数 9,235 千人→ <b>10,000</b> 千人
地域公共交通の相互連携による利便性の高い公共交通サービスの実現	コミュニティバスの利用者数 54,216 人→ <b>56,400</b> 人	コミュニティバスの収支率 50.9%→ <b>55.0%</b> 以上
新たな移動手段の導入による充実した公共交通の実現	コミュニティバスの運行に係る市の財政負担額 8,464 千円→ <b>8,464</b> 千円	ノンステップバス車両の導入率 76.4%→ <b>80.0%</b> 以上
公共交通の運行に関する分かりやすい情報発信の実現	就職説明会等の後援・共催回数 <b>年2回以上</b>	モビリティ・マネジメント施策の取組数 <b>年1回以上</b>
	駅前広場における上屋、ベンチの新規設置箇所 <b>3箇所以上</b>	補完的移動手段の導入検討地域 <b>1地域</b>
	市民アンケートにおける外出時に困っている人の割合 20.9%→ <b>20.9%</b> 以下	公共交通マップの発行 <b>1回以上</b>

## 計画の推進体制

市の財政負担に制約がある中で、市民や来訪者の誰もが移動しやすく、まちづくりの基盤となり、将来にわたり持続可能な交通ネットワークを築くためには、交通事業者の自助努力や行政の支援のみならず、市民自らが公共交通を“デザインする”“守っていく”という意識のもと、主体的に関わることが重要となります。

市民や来訪者の移動を確保する公共交通を、魅力的で、利便性の高いサービスとしていくために、地域住民、交通事業者、行政それぞれが抱える課題について共通の認識を持ち、一丸となって取り組んでいくことが不可欠です。

そのため、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業に取り組むための体制づくりを進めていきます。

### ■本計画推進のための協働・連携体制



令和6年3月  
八千代市  
都市整備部 都市計画課  
TEL:047-421-6771  
FAX:047-484-8824

